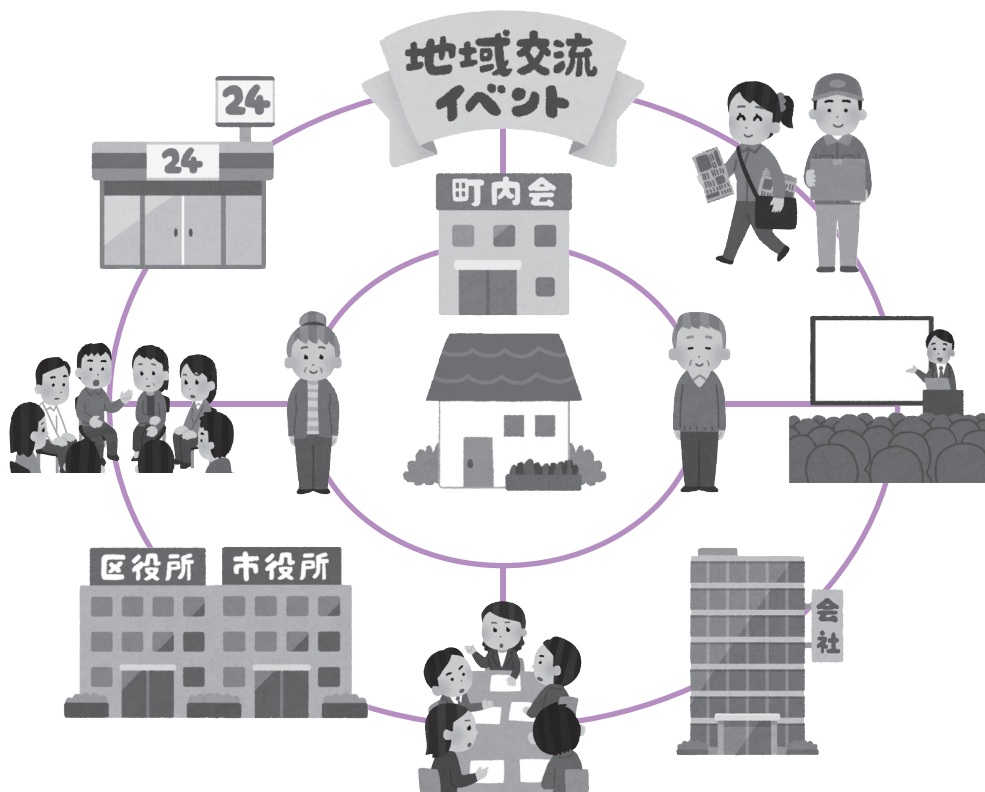


# 福まち活動の手引き

～ 『地域と事業者でつくる見守りネットワーク編』 ～



札幌市・区社会福祉協議会 / 札幌市



## も く じ

I	見守り協定事業者について	
	見守り協定事業者の概要	1
II	見守り協定事業者の取り組み紹介と地域との連携事例	
	生活協同組合コープさっぽろ	2
	株式会社エンパイア	4
	札幌ヤクルト販売株式会社	6
	道新会札幌八日会	8
	株式会社セブン-イレブン・ジャパン	10
	株式会社あいプラン	12
	株式会社日信	14
	清田区社会福祉協議会	16
	地域との連携事例	18
III	参考「福祉のまち推進事業について」	20
IV	参考資料	21

## はじめに

平成 23 年度より札幌市と訪問販売等を行っている民間事業者との見守りに関する協定の締結が開始され、平成 26 年度より札幌市社会福祉協議会が地域見守りネットワーク推進会議を市・区単位で開催しています。

令和 6 年 3 月現在の協定事業者数は 24 社となっていますが、その取り組みを地域の活動者が知る機会は、先述の市・区地域見守りネットワーク推進会議や地区の研修会等に限られています。

本手引きにより、事業者の取り組みや区社協及び地域と連携した事例が地区福祉のまち推進センター（以下、地区福まち）や地域の活動者へ広く周知され、関わりを持つきっかけとなれば幸いです。

# I 見守り協定事業者について

## 1. 見守り協定事業者とは

札幌市では、平成23年より、高齢者等の孤立死防止等に向けた取組みの一環として、宅配事業者などの民間事業者と「見守りに関する協定」を締結し、異変を発見した場合に警察・消防や区役所へ通報いただく取組みを実施しています。

令和5年度末時点では、市内24の事業者と協定を締結しています。

① 生活協同組合コープさっぽろ	② 株式会社エンパイアー
③ 札幌ヤクルト販売株式会社	④ 道新会札幌八日会
⑤ 明治安田生命保険相互会社 札幌支店	⑥ 株式会社セブンーイレブン・ ジャパン
⑦ 佐川急便株式会社 北海道支店	⑧ 第一生命保険株式会社 札幌総合支店
⑨ 日本郵便株式会社 札幌市内郵便局	⑩ 生活クラブ生活協同組合北海道
⑪ 日本生命保険相互会社 札幌支社	⑫ 株式会社あいプラン
⑬ 明治フレッシュネットワーク 株式会社 北海道支社	⑭ 三井住友海上あいおい生命保険 株式会社 北海道営業部
⑮ フォール株式会社 札幌支店	⑯ ノーリエ合同会社
⑰ 株式会社日信	⑱ 株式会社 COTOTORI
⑲ 株式会社ジェイコム札幌	⑳ 株式会社ハート倶楽部
㉑ 太平洋興発株式会社	㉒ 大和ライフネクスト株式会社
㉓ 株式会社シニアライフクリエイト	㉔ ヤマト運輸株式会社

※敬称略、協定締結順

## 2. 地域との関わり

地区福まちや地区民生委員児童委員協議会（以下、地区民児協）などの地域組織と見守り協定事業者（以下、事業者）がお互いの活動を知り、ネットワークを構築し、連携を深めていくことを目的とした、「市・区地域見守りネットワーク推進会議」を開催し、事業内容や活動事例の共有や情報交換を行っています。

また、福まちや民児協などの地域組織が主催する研修会で、事業者の事業説明や活動事例紹介、事業者との情報交換などを行ったり、事業者が行う出前講座の利用や、地区が開催する健康セミナーに事業者に協力をいただくなど、事業者との関わりを持つ地域も増えてきています。

## Ⅱ 見守り協定事業者の取り組み紹介と地域との連携事例①

# 生活協同組合コープさっぽろ

### ■ 見守り協定に関する事業内容について

宅配システム「トドック」や夕食宅配「クルリン」では、毎週同じ曜日の同じ時間帯に、同じ担当者が商品をお届けしています。

組合員さんと直接お会いする機会が多く、担当者が組合員や地域の高齢者などの異変に気付いた場合、事前に取り決めた連絡先に速やかに連絡・通報を行っています。

また、ポストに新聞や郵便物がたまっているといった場合には他の配達後に再訪問したり、状況によっては所属センターへ連絡した上で消防・警察・行政等へ連絡しています。



▲宅配「トドック」の様子

### ■ 見守り協定を締結した経緯について

2008年に「北海道への恩返しの10年」として、社会貢献につながる取組を開始しました。

2010年には移動販売車、配食サービスなどを開始し、同年に宅配小樽センターが小樽市からの要請により地域見守りネットワークへ参加しました。

その事例を契機として同様の協定を全道に広げていくことを決め、この間175市町村と高齢者見守り協定を締結してきました。

札幌市とは2011年2月に高齢者見守り協定を締結しており、単独協定としては初の締結となっています。

※2010年の小樽市、室蘭市はネットワーク参加型



▲夕食宅配「クルリン」の様子

## ■ 見守り活動の事例について

配達員が二日前にお届けした商品がそのままになっており、チャイムや電話をしても応答がありませんでした。

宅配センターに戻った後、チーフに引継ぎを行い、チーフから再度訪問や電話をしても応答はありませんでした。

東京に住むご家族とようやく連絡がとれ、「ご本人と連絡がとれない」旨お伝えしたところ、後日ご家族から連絡があり、部屋で倒れているところが発見されたとのことです。

生存率を表す「72時間の壁」に近く、もう少し発見が遅れると危ぶまれる状況とのことでした。

## ■ 活動する上で難しいと感じること

訪問して留守だった際に、倒れているのかもしれないもしくは本当にただの留守なのか判断が難しいと感じる時があります。

その際、地区民生委員児童委員協議会の会長といった代表の方だけでも連絡先を共有できていれば、対応はより円滑に進むのではないかと思います。

難しいことは沢山ありますが、高齢者見守り協定を締結することで、担当者が組合員さんに一歩踏み込んで近づく姿勢ができ、組織的な対応ができるようになったと思います。

### ～社協のワンポイント解説～

生活協同組合コープさっぽろさんは、宅配システム「トドック」以外にも様々な取り組みを通して見守り活動を行っているため、協定業者の中でも対応件数が多い事業者です。

福まちや民生委員が活動する上で、見守り活動を拒否される方や買い物に困っている方に対しては、「宅配サービスを利用した見守り」が有効な手段になります。

また、定期的に地域の研修会等で、事業者と情報共有することでお互いの活動に活かすことができます。

## Ⅱ 見守り協定事業者の取り組み紹介と地域との連携事例②



### ■ 見守り協定に関する事業内容について

弊社は 1912 年に釧路で山下洗濯店という名前で開業しました。

見守りについては、ホームクリーニング事業において、札幌市内に 70 名ほどのルートセールスマンが、週 1 回か 2 回ほどクリーニングの注文があるかの確認や前回預かった品物をお届けするため、お客様宅への訪問または電話にて安否の確認をしています。

お客様に直接お会いし、身体的な異変が明らかな時や目に見えていつもと違う様子といった場合は、119 番に通報しています。

なお、実際にお会いできなかった場合は、前回来た時と同じ郵便物がまだ入っている、夜になっても電気がつかないなどの場面があればお声がけしています。

1 度お声がけた上で、反応がなければ区役所の窓口と弊社の本部に相談し通報するというルールで取り組んでいます。

### ■ 見守り協定を締結した経緯について

企業理念（社是）に「信・愛・望」という言葉があり、「愛と奉仕の精神を持ってお客様に接しましょう」の意味があります。

そこで、何か地域貢献できることはないか、地域密着の事業を展開する中で何か手助けになることがないかということで、クリーニング配達を通じた見守り事業を始めました。

そして、創業 100 周年の際に札幌市と見守りに関する協定を結びました。



▲配達の様子

## ■ 活動する上で難しいと感じること

お客様に対して「どこまで踏み込んでいいのか」が非常に難しいと感じています。

人命優先で対処するように心がけていますが、時には「余計なお世話」と受け取られてしまい、お客様が不満を抱えてしまうリスクもあります。

こうしたリスクを未然に防ぐため、お客様には事前に見守り活動について承諾いただき、チラシにも見守り活動についての記載を入れ、周知しているところです。



▲チラシに上記を入れて周知

## ■ 地域と連携したいこと

事前に地域の中で気に掛けてほしい方を把握できれば、意識して見守りに取り組めると思います。

個人情報などの問題もありますが、地域と事業者との間でできる限りの情報共有ができれば、訪問した際に異変の見落としを防げるのではないかと考えています。

### ～社協のワンポイント解説～

株式会社エンパイアーさんは、高齢のお客様に対し、事前に見守り活動についてチラシで周知しています。

地域での見守り活動も同じように、回覧板や広報誌等で周知することでトラブル防止に加え、地域全体に活動に対する理解を拡げていくことで、新たな担い手の発掘にも活かすことができます。

## Ⅱ 見守り協定事業者の取り組み紹介と地域との連携事例③

# 札幌ヤクルト販売株式会社 **Yakult**

### ■ 見守り協定に関する事業内容について

弊社は1956年に創業以来、ヤクルトレディ（以下、YL）による訪問販売を行なっています。YLは商品を届けるだけではなく、お客さま一人ひとりとのコミュニケーションを大切にという考えのもと日々商品をお届けしています。

現在、札幌市内約300名のYLによる見守りを行っており、商品のお届け業務の中で、お客さまの身体や状況に異変を感じた際に、弊社を通じて区役所等に通報する形を基本ルールとしています。

また、地域の皆さまの健康増進、健康寿命の延伸を目的に健康セミナーを実施しています。2022年度は、地域の福祉関係団体様からのご依頼も含め、札幌市内で111回ものセミナーを開催しました。参加された方同士で「お久しぶりです、お元気でしたか？」といった声の掛け合いも見られ「集いの場での見守り」という意味においても大切な活動と感じています。

### ■ 見守り協定を締結した経緯について

2012年12月、札幌市初の見守り事業者として協定を締結しました。

協定の趣旨と弊社の事業内容が合致したということもありますが、創業以来、地域の皆さまと共に歩み育てられた企業だと思っています。弊社の事業を通じて少しでも地域の皆さまに恩返しができたらという思いから、見守り協定を締結させていただきました。



▲訪問販売の様子



▲健康セミナーの様子

## ■ 見守り活動の事例について

【事例1】 Y Lが商品をお届けした際、応答がなく新聞も溜まっている状態だったため、管理人さんに状況をお伝えしました。その後、管理人さんが緊急連絡先に連絡をし、親戚の方がお客さまのご自宅を訪問したところ、「家の中で倒れていたが命に別状はない」とのご報告をいただきました。

【事例2】ヤクルトセンター（Y L拠点）付近で、高齢の女性が歩くことができず、一緒にいらした息子さんも一人ではどうすることもできない様子でした。お住いのマンションの住所をお伺いし、息子さんと一緒に身体を支えながら家までお送りしました。

協定締結から11年が経ちますが、当時に比べ、訪問頻度の減少（毎日から週1回お届けに移行）や新型コロナウイルスの影響もあり非対面でのお届けをご希望される方が増加しております。こういった状況から、お客さまの異変に気が付きにくくなっていると感じますので今後ますます地域と事業者の連携等が大切になると思います。

## ■ 地域との連携について

先述のとおり、「健康セミナー」を無料で実施しております。健康増進の一助として、集い開催の機会として、是非ご活用いただければと思います。地域で開催されるイベント等にも参画できればと考えていますのでお声がけください。

今後も、今できることを継続しつつ、見守りと地域の方の健康増進に努めていきたいと思っています。

### ～社協のワンポイント解説～

札幌ヤクルト販売株式会社さんは、日々のお届けによる見守りに加え、地域のイベントにて健康セミナーを無料で実施しています。

福まちの事業に事業者も参加することで、参加者の幅も広がり、事業者との連携を図ることで、新たに見守りが必要な方を発見する機会にも繋がります。

## Ⅱ 見守り協定事業者の取り組み紹介と地域との連携事例④

# 道新会札幌八日会

### ■ 見守り協定に関する事業内容について

道新会札幌八日会は、札幌市並びに札幌市近郊（北広島市・石狩市の一部）の販売所で構成される組織になります。

新聞を配達した際、前日もしくは前々日に配達した新聞がポストに溜まっていることを異変と捉え、できる範囲で状況把握を行います。

家の中で人が倒れているのではないかと判断した際には、警察や消防、自治体などに連絡を入れています。

また、北海道新聞を購読している方を見守るコールサービス「道新あんしんサポート」というサービスも行っております。

こちらは登録制ですが、チャイムを鳴らしても反応がない場合に事前に登録いただいたお客様の親族や知人に連絡する取り組みになります。

### ■ 見守り協定を締結した経緯について

2014年に高齢者や障がいのある方の孤立死を防ぐため、札幌市と見守り協定を締結いたしました。

その後、2017年に全道179市町村と当時550の北海道新聞販売所とで見守りに関する協定を結んでいます。

札幌市との協定から活動が広がり、現在は全道をカバーしている形となります。



©北海道新聞社

▲北海道新聞のキャラクター「ぶんちゃん」



▲道新あんしんサポート

## ■ 見守り活動の事例について

新聞配達時に、新聞が3日溜まっている家を発見しました。自家用車も家の前に止まっており、室内にいる可能性が高かったことから、異変と捉え販売所に連絡をいたしました。

連絡を受けた販売所は警察・消防に通報し、警察がご自宅を確認したところ、ご主人が倒れておりました。腰痛で身動きが取れず、助けを呼ぶことができなかったとのことです。

「道新あんしんサポート」では、戸建てに住む高齢夫婦世帯のポストに新聞が溜まっていたため、町内会の班長に連絡し、町内会経由で警察に通報いただいたところ、奥さんが入院中で旦那さんが倒れて動けなくなっていたことがありました。

## ■ 今後の展望について

弊社は見守りの事業を広く読者の皆様に伝えているわけではありませんし、新聞を購読している方に限った見守り事業になっているのが現状です。

今後は、イベントの開催や地域のお祭りへ積極的に参加、お店によっては新聞以外にも物販などをして、新聞を取っていない地域の方と接する機会をつくり、私たちを知るきっかけとなる活動をしていきたいと思えます。

### ～社協のワンポイント解説～

道新会札幌八日会さんは、同じ配達員がほぼ毎日配達をしていることから、些細な変化を見つけやすい活動になります。

地域の見守り活動は、活動者に負担がない範囲で行うことが前提ですが、見守り対象者の変化を見落とさないよう、記録をつけることや活動者同士で情報を共有することが大切です。

## Ⅱ 見守り協定事業者の取り組み紹介と地域との連携事例⑤

# 株式会社セブン・イレブン・ジャパン

### ■ 見守り活動の内容について

弊社の企業理念では、目指す姿を「明日の笑顔と共に創る」とし、地域と共に生きる社会を実現することを目指しています。

店舗数は2024年1月末時点で、北海道内に1,000店舗、そのうち札幌市内に339店舗を展開しています。

見守り活動の取り組みとして、全国のコンビニエンスストアには、「セーフティステーション活動」のポスターが貼ってあります。

セーフティステーション活動は、店舗が地域の皆様のご協力のもと、社会的責任の一環として、「地域の安心・安全なまちづくり」と「青少年環境の健全化」へ取り組む自主的な活動です。

このポスターが貼ってある店舗では、子どもや女性が不審者から逃げ込むといった場合の駆け込み、認知症と思われる方が何度も来店された際に店舗で保護し、警察に連絡する取り組みをしています。

### ■ 見守り協定を締結した経緯について

弊社は2015年11月26日に札幌市と見守り協定を締結しました。

各店舗では地域に根ざした商売を行っており、地域の成長や活性化、地域の皆様の活力になるような取り組みを行うためにも、自治体との連携を重視しています。

商売を通じて地域に幸せ、笑顔を提供したい、地域の安全・安心を守ることで、住民、子どもたちを笑顔にしたい、地域との共生、共創こそが、将来のお店の発展に繋がるという思いから、今後も札幌市と連携した取り組みを行っていきます。



▲活動のポスター

## ■ 見守り活動の事例について

最も多い事例は、高齢者の保護で2022年には1年間に全道の店舗で900件以上の対応を行いました。

軽微なものから、朝から昼まで計10回ほど買い物に来る方、中央区から石狩湾新港まで歩いていました。

そのような徘徊する高齢者を見かけた際にはお店で保護し、ご家族または警察へ連絡しています。

また、近年は特殊詐欺の対応ケースが増えています。店員が特殊詐欺だと感じた際にはお声がけをしており、2022年には全道の店舗で851回、特殊詐欺を未然に防止しました。

金額が少額になると、犯罪は表面化せず、自分の中だけにしまい込んでしまう方もいらっしゃることから、そのような方に寄り添って、詐欺被害から守るため、水際対策に取り組んでいます。

## ■ 地域との連携について

他市ではありますが、町内会と店舗と警察が連携し、子どもの駆け込み訓練や特殊詐欺防止の防犯訓練を行いました。

当日は、子どもから高齢者まで地域住民40人が参加しました。事前に町内会役員の皆様と打ち合わせを行い、実際にだまされないように特殊詐欺の被害者役を町内会役員にやっていただき、一緒に学んでいただく形で実施したことから、参加者からも非常に好評でした。

今後は、お店から入る情報だけではなく、地域の中でも町内会といった小さな単位から入る情報に真剣に耳を傾けて対応していきたいと考えています。

### ～社協のワンポイント解説～

株式会社セブン・イレブン・ジャパンさんは子どもから高齢までの幅広い世代にとって「身近な拠点」になります。

福まちは、商業施設より頻繁に人が訪れるわけではありませんが、継続的に活動を周知することで、いざという時に安心して利用できる「地域の身近な拠点」として機能します。

## Ⅱ 見守り協定事業者の取り組み紹介と地域との連携事例⑥

# 株式会社あいプラン

### ■ 見守り協定に関する事業内容について

弊社は1963年の創業から、経営の理念として「人生に、愛と感謝を咲かせる会社（LOVE & THANKS）」というテーマを持ち活動しています。

見守りに関する事業については、弊社の会員様のご自宅へ定期的な訪問を行っておりまして、契約内容の確認やイベントの告知などを行っています。

また、独居者の方や75歳以上の世帯のお客様には第2連絡先の登録をいただいております。緊急時には区役所はもちろん、ご家族にも速やかに連絡ができる体制となっております。

### ■ 見守り協定を締結した経緯について

弊社は、この見守り協定を2018年の12月に締結させていただきました。

見守りに関する事例はあまりないですが、地域のイベントや社会貢献活動を通して、地域に貢献できることがあれば、今後も取り組み続けていきたいと思っております。



▲訪問の様子



▲イベントの様子

## ■ 地域との連携について

斎場というと暗いイメージを持たれる方が多いかと思いますが、やわらぎ斎場の施設を会場としたイベントの開催や、地域への斎場無料開放を行っています。

今年度は、取り組みの一つとして「つながりマルシェ」という、ハンドメイド雑貨の販売やワークショップ等を取り入れた大きなイベントを開催し、多くのお客様にご来場いただきました。その他に警察署と連携した安心・安全イベントなども実施いたしました。

また、地域と連携した取り組みとして、町内会や商店街のお祭りを弊社の社員がお手伝いを行い、一緒にお祭りを盛り上げました。

## ■ 今後の展開について

葬祭の式場、施設にはなかなか気軽に入りづらいと思いますので、イベントを通して建物の中を見ていただければと思っております。

お葬式をやっているとき以外は、気兼ねなく窓口などに葬儀で困ったことや聞きたいことなどを相談していただいで大丈夫です。

また、終活セミナーの出張講座も行っておりますので、ご利用ください。

しかし、「来てほしい」と発信しただけでは難しいと思いますので、地域の皆様が楽しめるイベントや、地域で聞き取った内容をイベントという形にして、折り込みや町内会に回覧板を回していただくことなどで連携、つながりができたらと思っています。

### ～社協のワンポイント解説～

株式会社あいプランさんは、葬儀だけではなく、葬儀を行うための相談場所としての機能もありますが、暗いイメージを持たれる方が多いため、相談に来づらいという課題を抱えており、イベントを通してイメージの払拭を行っています。

福まちで相談室を開設している場合も同様に、利用しやすい雰囲気づくりや回覧板や広報誌といったツールを用いて周知し、活動を知ってもらうことが大切です。



## ■ 見守り活動の事例について

配達員がいつもと同じようにお宅へ伺うと、いつもより元気がなく、お話好きな方なのに話が續かない、顔がむくんでいる等、違和感を感じたとのことです。

その後、配達員から本部へ連絡し、本部から緊急連絡先である娘さんにお伝えしたところ、娘さんが病院に連れて行き、翌日「命を救っていただきました。ありがとうございます。」と感謝のご報告をいただきました。

## ■ 地域との連携について

弊社では配食サービス事業を通しての情報しか分からず、「単なる不在」なのか「倒れている」のか判断が難しい場面が多くありますが、福まちや民生委員、町内会・自治会の方等であれば何か情報を把握しているのではないかと思います。

個人情報観点から、情報を一つにまとめることは難しいですが、札幌市の協定を通して、自治体や協定事業者との連携が図られ、見守り活動をより強化することができ、安心して暮らせるまちづくりを担っていければと考えています。

弊社の活動内容や取組をもっとたくさんの方に知っていただき、理解していただくことで、より多くの方々との協力を得て、社会全体として見守りに取り組んでいこうという連帯感を高めていけるよう、これからも引き続きその使命を担って日々取り組んでいきます。

### ～社協のワンポイント解説～

株式会社日信さんは、「札幌市高齢者配食サービス事業」にて、お客様の緊急連絡先を把握しています。

福まち活動において、見守り対象者の緊急連絡先を把握することは、プライバシーの問題で困難かと思いますが、「緊急連絡カード」を作成・配布し、活用いただくことで緊急時の対応に役立てることができます。

## Ⅱ 見守り協定事業者の取り組み紹介と地域との連携事例⑧

# 清田区社会福祉協議会

### ■ 清田区地域見守りネットワーク推進会議について

清田区地域見守りネットワーク推進会議では、地域で行っている見守り活動の状況や事業者の活動状況などを共有しています。その中で、「担い手が不足している」という声や、事業者側からも「訪問拒否する人への対応がやっぱり難しい」といった課題が聞かれました。

地域と事業者が連携を図っていくためには、顔の見える関係づくりが重要となることから、地域が事業者に協力したいことについて情報交換を行ったところ、福まちのイベント等で事業者に出前講座をしていただく機会や、サロン等でレクリエーションを披露していただくような機会が生まれました。

### ■ 地域と事業者との連携について（講座やセミナー）

事業者から提示いただいたメニューを基に、福まちで依頼したい内容を検討していただき、ある程度固まったら依頼内容を区社協が事業者にお伝えし、具体的な打ち合わせを行うのが一連の流れになっています。2回目以降は、区社協を挟まずに直接事業者とやり取りをしていただくこともあります。

実際に協定事業者の札幌ヤクルト販売株式会社さんから健康講座と子育てサロンのイベントにご協力いただきました。

終了後にはヤクルト飲料などの製品を参加者にお配りいただき、参加者からも大変好評でした。



▲健康講座の様子



▲子育てサロンの様子

## ■ 地域と事業者との連携について（ボランティア活動）

事業者から区社協にボランティア活動を行いたいと相談が来ることもあります。

個人宅での活動が可能な場合は、ボランティア登録を行っていただき、ボランティア相談があった際に、活動依頼を行います。

近年では、第一生命保険株式会社さんへボランティアの依頼を行っており、高齢者宅の窓ふきや部屋の模様替え等にご協力をいただいています。

地域の方からは、「こういうことも企業さんはしてくれるんだね」と活動を好意的に捉えているようです。



▲ボランティア活動の様子

## ■ 地域が事業者に期待すること

地域が事業者に期待することを伺ったところ、①福まちイベントへのノベルティの寄贈、②出前講座の実施、③健康づくり・測定会への協力、④在宅ボランティア活動、⑤子育てサロンへのクリスマスプレゼント、⑥小規模なイベントでの柔軟な対応、等のご意見をいただきました。

特に、物品の寄贈を希望する声が多くありました。それは、景品があることで、コロナ禍で家に閉じこもりがちになりなかなか外に出られなくなった方、人と接触する機会が少なくなってきている方が、福まちや町内会のイベントに参加していただくきっかけになればとの思いからです。

また、区社協としては、出前講座やボランティア活動をきっかけに、地域と事業者の関係が深まり、見守り活動についての連携も図られることを期待しています。

社協職員は、地域が求めていることと事業者が出来ること、したいことをお聞きし、コーディネートをさせていただきますので、まずはお気軽に区社協へご相談ください。

# 地域との

## 札幌市・区地域見守りネットワーク推進会議



▲札幌市地域見守りネットワーク推進会議



▲東区地域見守りネットワーク推進会議



▲清田区地域見守りネットワーク推進会議



▲南区地域見守りネットワーク推進会議

札幌市では、札幌市社協が主催の「札幌市地域見守りネットワーク推進会議」を年2回、各区社協が主催の「区地域見守りネットワーク推進会議」を年1回開催しています。

市地域見守りネットワーク推進会議では、全協定事業者を参加対象に、事業説明や事例報告だけではなく、区社協や行政職員と協定事業者でグループワークを行い、地域と事業者の連携の検討や情報共有を行っています。

区地域見守りネットワーク推進会議では、福まち関係者などの地域活動者が多く参加しており、協定事業者や警察・消防等から事業説明や事例報告をいただき、事業者と地域が関わりを持つきっかけや情報交換の場となっています。

# 連携事例

## 地域の研修会



▲厚別区 もみじ台地区



▲北区 新川地区



▲豊平区 福住地区



▲西区 山の手地区

～上記の研修にご協力いただいた協定事業者～

生活協同組合コープさっぽろ、札幌ヤクルト販売株式会社、道新会札幌八日会、  
第一生命保険株式会社、株式会社日信、株式会社ジェイコム札幌 ※敬称略、協定締結順

事業者の取組みを知っていただくための研修会を開催いただく地区福まち、地区民児協が増えてきています。

地区で研修会を開催いただくことで、多くの地域活動者に事業者の取組みを知っていただけると同時に事業者との顔つなぎの機会となっています。

研修の参加者からは、「事業者の社会貢献の取り組みを知る良い機会となった」、「事業者と連携することで自分たちの見守り活動にも活かせるのではないか」という声も聞かれています。

事業者との連携の第一歩として、地区地域見守りネットワーク研修を活用してみてください。

## Ⅲ 参考「福祉のまち推進事業について」

福祉のまち推進事業は、幅広い市民の福祉活動への参加を促すことにより「誰もが安心して暮らせる地域社会を築く」ことを目的として、札幌市社協および各区社会福祉協議会と札幌市が協力して実施している事業です。

この事業では、地区社会福祉協議会（以下「地区社協」）に「地区福祉のまち推進センター」（以下「地区福まち」）を設置して、以下の2つの基本目標を掲げ、市民の支え合い活動を進めています。

- ① 地域住民の日常的な支え合い活動の推進
- ② ボランティアによる福祉サービスの推進

地区福まちは、地域の関係団体の集合体である地区社協の活動部門として位置づけられ、基本目標の達成のために、主に5つの活動に取り組んでいます。

### ● 日常生活支援活動（福まちの重点活動）

町内会という顔の見える身近な生活圏域で、見守り・訪問活動やゴミ出し、除雪、話し相手、外出支援などの日常生活支援を実施しています。

また、町内会ごとに「福祉推進委員会」を設置して、地域住民や関係団体が協力・連携しながら、支え合い活動を組織的に展開しています。

### ● 調査・点検活動

日常生活支援活動の対象世帯の把握に向けて、福祉マップの作成や、住民の困りごとの調査などを実施しています。

### ● ふれあい交流活動

住民同士がつながり、支え合う関係を築くために、ふれあい・いきいきサロンなどの定期的な交流の場づくりや、様々な交流行事を開催しています。

### ● 学習・研修活動

日常生活支援活動にかかわる知識・技術の向上や、住民の地域福祉への理解と参加促進を図るために様々な講座や研修会を開催しています。

### ● 広報・啓発活動

より多くの市民に地域福祉に理解いただき、活動への参加が促進されるよう、広報紙やチラシ等を作成・配布して、福まちなどの取組みを紹介しています。

## Ⅳ 参考資料

札幌市社会福祉協議会では、市民の皆さんの地域福祉の取組みを支援するため、手引書や事例集を作成しています。

各種冊子が必要な方や関心のある方は、最寄りの社会福祉協議会までご連絡ください。

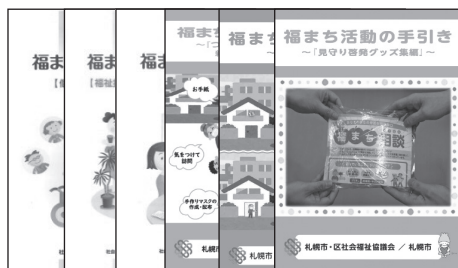


### ◀福まち活動の手引き【改訂版】▶

(内 容)

- 1 地域での支え合い なぜ求められているのか
- 2 札幌市における住民相互の支え合い活動
- 3 福祉推進委員会の役割と活動
- 4 地区福祉のまち推進センターの役割と活動
- 5 地区福まちと民生委員・児童委員との連携
- 6 地区福まち活動における個人情報の取り扱い

～テーマ別の手引書や活動事例集も発行しています～



#### ◎福まち活動の手引き（テーマ別）

- ・個人情報の取り扱い編
- ・福祉推進委員会の開設・活動編
- ・地域福祉マップ編
- ・新・福まちスタイル編
- ・リスタート編
- ・見守り啓発グッズ集編

#### ◎見守りのすすめ

- ・入門編
- ・声かけ・訪問編
- ・活動の記録と情報の共有編

#### ◎活動事例集

- ・地域の福祉活動
- ・ふれあい・いきいきサロン

各冊子はホームページ

<https://www.sapporo-shakyo.or.jp/>

からダウンロードできます

## 福まち活動に関するお問い合わせ先

お住まいの区の社協	所在地	電話番号
中央区社会福祉協議会	札幌市中央区大通西2丁目9 中央区役所仮庁舎5階 ※令和7年2月末に札幌市中央区南3条 西11丁目へ移転予定	281-6113
北 区社会福祉協議会	札幌市北区北24条西6丁目 北区役所1階	757-2482
東 区社会福祉協議会	札幌市東区北11条東7丁目 東区民センター1階	741-6440
白石区社会福祉協議会	札幌市白石区南郷通1丁目南8 白石区複合庁舎1階	861-3700
厚別区社会福祉協議会	札幌市厚別区厚別中央1条5丁目 厚別区民センター1階	895-2483
豊平区社会福祉協議会	札幌市豊平区平岸6条10丁目 豊平区民センター1階	815-2940
清田区社会福祉協議会	札幌市清田区平岡1条1丁目 清田区総合庁舎3階	889-2491
南 区社会福祉協議会	札幌市南区真駒内幸町2丁目 南区役所3階	582-2415
西 区社会福祉協議会	札幌市西区琴似2条7丁目 西区役所1階	641-6996
手稲区社会福祉協議会	札幌市手稲区前田1条11丁目 手稲区民センター1階	681-2644
札幌市社会福祉協議会	札幌市中央区大通西19丁目1-1 札幌市社会福祉総合センター3階	614-3344

- 作成 社会福祉法人 札幌市社会福祉協議会 / 札幌市
- 協力 各区社会福祉協議会
- 問合せ 札幌市中央区大通西19丁目1-1  
札幌市社会福祉総合センター3階  
TEL: 011-614-3344 FAX: 011-614-1109  
ホームページ <https://www.sapporo-shakyo.or.jp>  
※ 本冊子はホームページからダウンロードできます
- 発行日 令和6年3月